

フランス発、最先端の音響実験空間

A cutting-edge acoustic experiment from France

ircam



# Spring Festival in Tokyo

## Concert I

Yan Marez : Sul Segno  
Comber : Kogarashi, le premier soupir des fantomes  
Romitelli : Trash TV Trance for electric guitar

ensemble Court-circuit  
Contrabass : Didier Meu  
Harp : Véronique Ghesquière  
Guitar : Christelle Séry  
Cymbalom : Françoise Rivalland

## Concert II

Boulez : Dialogue de l'ombre double  
Ichiro Nodaira : Iki-no-michi (Les voies du souffle)  
pour un saxophoniste et dispositif électroacoustique  
Saxophone : Claude Delangle

ircam (フランス国立音響音楽研究所)  
L'institut de recherche et coordination acoustique/musique  
音楽表現と科学研究の双方のための世界最大の公的な研究所のひとつ。ボンビドゥー・センターとフランス文化省の後援のもと、ピエール・ブレーズが1974年に創設。ircamの3つのおもな活動は、〈創造・研究・発信〉であり、芸術的な感性を科学的、工学的な開発と融合させる独自のスタンスで、音楽(作曲)と音響をめぐるイノベーションを進め、作品の委嘱等を通じ、それらを作曲家の創造に提供してきた。ircamにおける作曲家との協働から生まれた作品として、J.ゲージ:《ロアマトリオ》、L.ベリオ:《シュマン》第5番、P.ブレーズ:《レボン》、P.マヌーリ:《時間の推移》、T.ミュライユ:《デザンテグラシオン》などが挙げられる。

4/5

[金]

Concert I 18:30開演  
Concert II 20:30開演  
(各回約60分)

日経ホール

Concert I & II 通し券 ¥5,000 全席指定(各回) ¥3,000 U-25 ¥1,500 ※U-25チケットの取扱いは東京春祭オンライン・チケットサービスのみ

【主催】東京春・音楽祭実行委員会 【共催】日本経済新聞社

【後援】フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ東京 / 公益財団法人 日仏会館 / 日本現代音楽協会 / 社団法人 日本作曲家協議会 【協力】野中貿易株式会社



INSTITUT FRANÇAIS

# ircam × Spring Festival in Tokyo

— A cutting-edge acoustic experiment from France

**Concert I**

曲目 ヤン・マレシュ: スル・セーニョ  
Yan Marez: Sul Segno  
コンビエ: Kogarashi—幽霊たちの最初の吐息  
Combiér: Kogarashi, le premier soupir des fantomes  
ロミテッリ:  
Trash TV Trance エレクトリック・ギターのための  
Romitelli: Trash TV Trance for electric guitar

出演 アンサンブル・クール=シルキュエ  
ensemble Court-circuit  
コントラバス: ディディエ・ムウ  
Contrabass: Didier Meu  
ハーブ: ヴェロニク・ゲスキエール  
Harp: Véronique Ghesquière  
ギター: クリステル・セリ  
Guitar: Christelle Séry  
ツィンパロン: フランソワーズ・リヴァラン  
Cymbalom: Françoise Rivalland

**Concert II**

曲目 ブーレーズ: 二重の影の対話 (サクソフォン版)  
Boulez: Dialogue de l'ombre double  
野平一郎: 息の道  
~4つのサクソフォンを奏する  
1人のサクソフォン奏者と電子音響のための  
(静岡市文化振興財団委嘱作品、ircam 制作作品 / 東京初演)  
Ichiro Nodaira: Iki-no-michi (Les voies du souffle)  
pour un saxophoniste et dispositif électroacoustique

出演 サクソフォン: クロード・ドラングル  
Saxophone: Claude Delangle

パリのボンピドゥー・センター前に位置するIRCAM。かつてピエール・ブーレーズが率い、現在ではフランク・マドレーネが所長を務めているこの機関も、創設からはや35年を数える(準備期間を含めれば40年以上)。A=アコースティック(音響)とM=ミュージック(音楽)とを、R=ルシエルシユ(探求)かつC=コオルディナシオン(連携・調整)するためのI=アンスティテュ(研究所)という名称の通り、最新のテクノロジーをタブーなしに取り込み、新たな芸術を創造しようというこの団体は、これまでにトリスタン・ミュライユやジェラルド・グリゼー、ジョージ・ベンジャミン、プリュノ・マントヴァーニなどの著名作曲家や、それらを演奏するすぐれたパフォーマー(団体としてはアンサンブル・アンテルコンタンポラン)、技師、研究者らを多く輩出してきた。今回の東京・春・音楽祭では、このIRCAMが関わり21世紀に入ってから初演された器楽とエレクトロニクスのための作品を集録する。

前半はヤン・マレス(1960生)とジェローム・コンビエ(1971生)、さらにドナトーニ門下で将来を嘱望されつつも41歳で夭逝したイタリアのロミテッリ(1963生)の中堅世代。1994年からミュライユのもとで研鑽を積んだマレスは、06年に来日しシンポジウムとレクチャー・コンサートに出演していたし、コンビエも秋吉台で日本に滞在していたこともあるので、その名をご記憶の方もあろう。今回はこれら3者のギターをメインとした作品が採り上げられる。マレス作品では名手揃いのアンサンブル・クール=シルキュエのメンバーによる演奏も楽しみだ。

後半はクロード・ドラングルの登場で、サクソフォンとライブ・エレクトロニクスとのために書かれた2作品。野平一郎の新作《息の道》は2012年に書き上げられ、同年6月にパリで初演されたもの。息の音から始まり、途中言葉を素材に用いたりしながら、ラストの鼓動を表すパルス音へと収斂してゆく作品で、ソリストはソプラノからバリトンまでの4つのサクソフォンを代わる代わる吹き替えてゆく。本作は、アルシア・コントがIRCAMで2011年に開発した最新鋭システム“アンティフォコ”を用いており、従来のように奏者がその場で指示するのではなく、コンピュータ自体がナマの音をそのまま追ってレスポンスしながら進行するという点でも画期的だ。ドラングルというスーパー・プレイヤーと、最新システムとのコラボのこの東京初演は聴き逃さないだろう。カップリングはIRCAM初代所長のブーレーズ《二重の影の対話》(オリジナルはクラリネット)。唯一85年の作なので、今の後輩作曲家たちの作風と聴き比べてみるのも一興である。

新しい音や音楽に関心がある方には是非体験してほしいコンサートだ。

音楽・バレエ・映画評論  
松本 學

## アンサンブル・クール=シルキュエ

ensemble Court-circuit

1991年にフィリップ・ユレルとピエール=アンドレ・ヴァラードにより結成。音楽監督はジャン・ドロワイエ。トップ奏者が集まった、優れたアンサンブルという評価を短期間のうちに得る。ircam、ラジオ・フランス、多数の音楽祭に出演。パリ・オペラ座のバレエ初演にも度々参加。教育にも注力し、音楽学校と頻りにコラボレートする。2012年からオー＝ド＝セーヌ県に本拠地を置き、同地の音楽学校や組織と協力関係にある。

## ディディエ・ムウ (コントラバス)

Didier Meu (Contrabass)

パリ・アンサンブル・オーケストラ、パリ管弦楽団他、多くのオーケストラで演奏。室内楽、現代音楽でも活躍し、ドビュシー弦楽四重奏団やアンテルコンタンポラン等と共演。

## ヴェロニク・ゲスキエール (ハーブ)

Véronique Ghesquière (Harp)

1987年マリー・アントワネット・カザラ国際ハーブコンクールで優勝。その後、ソリスト・室内楽奏者として活躍。現代音楽に力を入れており、多くの曲を初演している。

## クリステル・セリ (ギター)

Christelle Séry (Guitar)

パリ国立高等音楽院で学び、国際コンクールでの入賞多数。創設時からアンサンブル・クーレンに所属し、アンテルコンタンポランやアンサンブル・イテネレールとも共演。

## フランソワーズ・リヴァラン (ツィンパロン)

Françoise Rivalland (Cymbalom)

主に現代音楽の室内楽・ソロで活躍し、作曲家とも交流がある。ミュージック・ファブリック、ルシエルシユ他団体の団体や、曲家、エクスペリメンタル・スタジオ等と活動する。

## クロード・ドラングル (サクソフォン)

Claude Delangle (Saxophone)

現代を代表するサクソフォン奏者の一人。クロード・ドラングルは、ペリオ、ブーレーズ、武満徹、ピアノといった作曲家とコラボレートすると同時に、若い作曲家の支援にも力を入れ、現代音楽の普及・拡大に尽力している。1986年にアンサンブル・アンテルコンタンポランのサクソフォン奏者に招かれて以降、ソリストとして世界の主要管弦楽団や指揮者と共演。1988年には母校であるパリ国立高等音楽院の教授に任命された。



© A. Borzun

# 東京・春・音楽祭

-東京のオペラの森2013-  
3.15 Fri. - 4.14 Sun.

東京の春の訪れを、音楽を媒介としたお祭りです。

明治以来、日本における文化・芸術の集積地として発展を続けてきた上野公園を舞台に、桜の美しい時期に1か月にわたり開催する音楽祭です。東京文化会館での「ワグナー・シリーズ」や、国内外の一流アーティストによる公演をはじめ、美術館・博物館を会場とした「ミュージアム・コンサート」、無料の小さなコンサート「桜の街の音楽会」など、約100公演を開催いたします。桜が咲きほころぶ春のひととき、上野のあらゆる場所から、色とりどりの音楽が聴こえてくる——そんな「東京・春・音楽祭 -東京のオペラの森2013-」が東京・上野の春を美しく彩ります。

春が訪れ  
桜がひらいて  
音楽が始まる  
上野の森に

www.tokyo-harusai.com 「春祭ジャーナル」にて、「イルカム所長によるプログラム紹介」も掲載中!

音響実験空間  
「ircam × 東京春祭」  
体験前に

ircam × 東京春祭  
Centre Pompidou

トークセッション

4/3(水) 18:30 vol.1 知る一イントロダクション  
4/4(木) 13:00 vol.2 試み—作曲家ヤン・マレシュを迎えて  
会場: SPACE NIO (大手町 日経ビル2F) ※各回約60分 自由席

■お申込み方法 [事前申込制]  
東京・春・音楽祭実行委員会宛にメールにてお申込みください。  
本文に以下を明記の上、ircam@tokyo-harusai.com宛に送信ください。  
①ご希望日 ②人数 ③お名前 ④メールアドレス ⑤住所 ⑥電話番号  
※携帯メールアドレスからの申込みも可能です。ただし、(tokyo-harusai.com)のメールが受信できるように設定をお願いいたします。  
※残席がある場合は、事前のお申込み無しでもご入場いただけます。

■料金 各回 ¥500 ※当日会場にて精算  
※「ircam × 東京春祭」のコンサート・チケットをご購入いただいた方は無料です。  
トークセッション当日、チケット(「チケットすQ」ご利用の方は予約控え)をご持参ください。

## チケットのお申込み

### 東京春祭オンライン・チケットサービス

http://www.tokyo-harusai.com/

(座席選択可)

公式HPだからこそ  
嬉しいサービス  
たくさん!

チケットレスで  
ご入場  
チケットすQ

チケットをメールで受信、またはご自宅で印刷。コンビニでチケットを受け取る手間を省き、さらに手数料もちょっとお得です。

3人そろって  
5%OFF  
トリオ・チケット

3名でご来場の場合、チケット代を5%割引  
※席種限定・同日1公演につき、同席種を3枚購入の場合のみ。

※東京春祭オンライン・チケットサービスのご利用はご登録が必要です(無料)。公式ホームページ内「チケット」ページにて、詳細をご確認ください。※「チケットすQ」「トリオ・チケット」は対象席種限定のサービスです。※車椅子席、団体での鑑賞等詳しくは下記までお問い合わせください。※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。※やむを得ぬ事情により、内容に変更が生じる可能性があります。出演者・曲目変更による払戻しはいたしませんので、あらかじめご了承ください。

公演に関するお問合せ 東京・春・音楽祭実行委員会 03-3296-0600



お電話でのお申込みは  
03-5685-0650

東京文化会館チケットサービス  
会館内チケット売場でも購入できます

その他プレイガイド

チケットぴあ http://pia.jp/t/harusai/  
0570-02-9999 (音声自動応答)  
⑦80-358 (通し券) 597-890 (各回券)  
ローソンチケット http://l-tike.com/  
0570-000-407 (オペレーター)  
0570-084-003 (音声自動応答)  
①34279  
e+ (イープラス) http://eplus.jp/harusai/